

【羽目を外すこと】・・・鈴木

新型コロナウイルスの感染拡大が大変なことになっております。終息すら読めない状況になっており、いろいろな物不足、本当に不安だらけですね、予防対策はお互いに注意して乗り切りましょう。

この影響で、今年の確定申告期限は延長（来月16日）になりましたが、当事務所では今月19日に確定申告がほぼ無事に終わり、通常業務へ切り替わりました。

今回のテーマは、日頃の生活に羽目を外す瞬間はありますか…です。多分「すごく少ない」と答える人が多いと思います。人生の中で五十代は、最も羽目を外しにくい年代と言われています。子供の学費や家のローンなどで、出費も多くなるため、大げさにお金を使いにくいのです。そして仕事では部下を持ち、中間管理とか重い責任を与えられています。定年も近づいているので、職場であまり無理な挑戦をしにくい時期と言われております。あまり羽目を外しすぎると、家庭にも仕事にも響きます。「無理はできない」と思い、我慢の多い毎日を送っている世代ではないでしょうか。

しかし、今この大変な時期に羽目を外すのは、まず難しいと思われれます。この騒ぎが落ち着くのがいつになることか…見守るしかないのですが。

世間が落ち着き始めたら、ちょっとひんしゆく物ですが、羽目を外す時間を作りたい、そう思っています。今は、休校の小中高生も体を動かさないとストレスがたまり、体に変調が現れるのではと心配されています。

五十代世代は責任もストレスも多いからこそ、羽目を外す時間が必要なのです。小さく羽目を外すなら、難しくはないと思います。1週間に1回は、贅沢に外食とか、そして来月キャンセルした旅行に秋以降にでも行けることを期待しております。

ストレスがたまりがちな五十代（どんな世代でも同じだよ、と言われるかもしれませんが・・・）だから、ストレス発散が大切です。羽目を外すのも、勝手に仕事のうちと考えます。



【日頃からの挨拶】・・・小倉

今年に入り、新型コロナウイルスが、こんなにも蔓延するとは思いませんでしたし、終息も予測できないのが困りました。報道でもコロナウイルス一色で世の中は、暗いイメージですが、せめて気持ちだけは明るくいたいものです。

社内での今月目標は、「挨拶は気持ちよく」です。以前、ある子供の作文を読んで、挨拶の大切さを改めて考えさせられたことがありました。それは次のような内容でした。

毎朝、姉妹で登校する途中、畑で作業するおばあさんが居て、見かける度に「おはようございます」と二人で声をかけるのですが、おばあさんからは返事が返ってきません。でも二人は根気よく毎朝挨拶を続け、二ヶ月ほどたったある日いつものように声をかけると、「おはよう」と挨拶を返してくれたのでした。

おばあさんは、数か月前に夫を亡くし、それ以来、寂しくて人と話すのも嫌になっていたが、姉妹の声掛けをしてくれたおかげで、次第に元気を取り戻すことが出来て感謝してますという内容のものでした。挨拶は人を勇気づけ励ましてくるものですね。ある国では、尊敬は相手の人を大切にすること、まずは挨拶することと教えられてるそうです。

また事務所では、確定申告時期でもあり、事務所諸先輩方のお力添えもありまして、なんとか乗りきりました。

人は一人では生きていけません。たくさんの人に支えられ、生かされているのです。周りとの人間関係を良好にして楽しい生活をしていくのには、相手の人を大切に思う思いを行動として表すことが大切だと思います。些細な心掛けが、こんな時期こそ必要だと思ひしられました。



今月のことば「記録更新も4位」

オリンピック選考男子マラソン大会で日本記録を更新し、1億円ゲットしたが海外勢に圧倒され総合順位は4位。オリンピックでは入賞も覚束ないだろう。円谷、君原の活躍が懐かしい。



◇編集後記◇

毎年3月号は確定申告の煽りを受け、発行が中旬になってしまいます。ところが今回は3月下旬になってしまいました。確定申告、延長制度に倣ったわけではございません。スタッフが業務に十分対応できなかったためです。催し物中止の世間に合わせ、今月号は休刊にしたらとの声もありましたが、遅くなりましたが発刊の運びとなりました。オリンピックは中止、延期になってもサンフェは休みません。大した内容ではありませんが、引き続き、ご愛読を頂きますよう、お願い申し上げます。

ホームページのご案内

当事務所のホームページです。ぜひアクセスして下さいね。ホームページはこの検索サイトでも、「**所長一筆**」と入力すれば、簡単に見ることが出来ます。

(HP) <http://ishikawatax.com/>

(MAIL) higenoishikawa@yahoo.co.jp